

## 05 食道癌

※ レジメン名称を [クリック](#) または [Ctrl](#) + [クリック](#) してください。該当ページに移動します。

※ 印刷時は、[“現在のページを印刷する”](#)を選んでください。

	分 類	コード	レ ジ メ ン 名 称	備 考
1	共通	05002-2A	<a href="#">FP 補助(手術前後・CRT 後)</a>	
2	共通	05004-1A	<a href="#">Docetaxel(食道)</a>	
3	科別(外科)	05005-1B	<a href="#">Low dose FP</a>	
4	科別(外科)	05006-1B	<a href="#">Low dose FP+Radiation</a>	
5	共通	05009-2A	<a href="#">Paclitaxel</a>	
6	共通	05010-1A	<a href="#">ニボルマブ療法(240mg)(食道 進行・再発)</a>	
7	共通	05011-1A	<a href="#">FOLFOX(食道)</a>	
8	共通	05012-1A	<a href="#">ペムブロリズマブ+FP</a>	
9	共通	05013-1A	<a href="#">DCF</a>	
10	共通	05014-2A	<a href="#">(標準)FP+Radiation</a>	
11	共通	05015-1A	<a href="#">ニボルマブ療法(480mg)(食道 進行・再発)</a>	
12	共通	05016-1A	<a href="#">ニボルマブ療法(240mg)(食道 術後補助)</a>	
13	共通	05017-1A	<a href="#">ニボルマブ療法(480mg)(食道 術後補助)</a>	

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
フルオロウラシル (5-FU)	800 mg/m <sup>2</sup> /day	div.(24h 持続)	Day1～5
シスプラチン(CDDP) (cisplatin)	80 mg/m <sup>2</sup> /day	i. v. (側管) 又はdiv.(2h)	Day1
3～4週毎(術前は3週毎・2クールで終了)			
Regimen			
内服	アプレピタントカプセル及びデカドロン錠を併用する。 day1 アプレピタントカプセル125mg 化学療法前 1回 day2,3 アプレピタントカプセル80mg分1 朝食後		
内服	day2～4 デカドロン錠8mg分2 食後		
5分 24時間	<b>day1</b> メイン①生理食塩液 50mL 1B 側①(メイン①終了後) 生理食塩液 1L 1B フルオロウラシル注 ( )mg		
2時間	メイン②ソルデム3A 500mL 1B フルオロウラシル投与開始後、並行して開始		
30分	メイン③パロノセトン点滴静注バッグ 0.75mg 1B デキサート注 6.6mg 1V		
30分	メイン④マンニトール S 300mL 1B フルオロウラシルを止めて投与		
5分	側②(メイン④終了後、側①と別ルートで) 生理食塩液 50mL 1B		
2時間	側③(側②と同一ルートから) 生理食塩液 500mL 1B シスプラチン ( )mg フルオロウラシルと同時に投与		
5分	側④(側③シスプラチン終了後、同一ルートから) 生理食塩液 50mL 1B		
2時間	メイン⑤ソルデム3A 500mL 1B		
6時間	メイン⑥ソルデム3A 500mL 1B		
5分	側⑤(側①フルオロウラシル終了後、同一ルートから) 生理食塩液 50mL 1B		
5分 24時間	<b>day2</b> メイン①生理食塩液 50mL 1B メイン②生理食塩液 1L 1B フルオロウラシル注 ( )mg		
24時間	<b>day3～4</b> メイン①生理食塩液 1L 1B フルオロウラシル注 ( )mg		
24時間	<b>day5</b> メイン①生理食塩液 1L 1B フルオロウラシル注 ( )mg		
全開 (5分)	メイン②生理食塩液 50mL 1B		
備 考			
・day2の点滴開始前にルートを交換  <b>【レジメンシステム登録】</b> 05002-2A FP 補助(手術前後・CRT 後) <b>インターバル3週で登録</b>  ・アプレピタントはレジメン内の処方に登録 ・デカドロン錠は適宜処方内服オーダ <b>&lt;推奨制吐剤&gt; 現行に追加</b> オランザピン OD 錠 5mg 1錠 分1 夕食後 day1～4 ・オランザピン OD 錠は内服処方オーダ ・オランザピン OD 錠は糖尿病患者及び糖尿病の既往のある患者には禁忌			

05004	食道癌	Docetaxel(食道)	申請科
			外科

H21.2 承認 H.27.7 改訂 H31.1 改訂 R2.6 改訂 R3. 5 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
ドセタキセル (docetaxel)	60mg～70mg／㎡	i. v. (1h以上)	day1
3週毎 耐性になるまで			
化療ベット予約：2時間で登録			
Regimen			
30分	day1 メイン①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6. 6mg		
60分	側①5%ブドウ糖液 250mL 1B ドセタキセル ( )mg		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B		
		備考	
		【レジメンシステム登録】 05004-1A Docetaxel(食道) ・70mg/m <sup>2</sup> で登録	

05005	食道癌	Low dose FP	申請科 外科
-------	-----	-------------	-----------

H27.7 改訂、H28.6 改訂 H30.10 改訂 H31.3 改訂 科別(外科)

薬品名		1回投与量		投与経路・時間		投与方法(1クール)	
フルオロウラシル (5-Fu)		500～750mg/body/day		div.(24h 持続)		5day/w×4week	
シスプラチン(CDDP) (cisplatin)		5～10mg/body/day		i. v. (側管)		5day/w×4week	
6週間毎							
Regimen							
5分 24時間 緩徐に 5分 24時間 緩徐に 5分 24時間 緩徐に 5分 全開 (5分)	day1						
	メイン①生理食塩液 50mL 1B						
	メイン②生理食塩液 1L 1B						
	フルオロウラシル注 ( )mg						
	側①シスプラチン注 ( )mg						
	(緩徐に iv. または						
	生理食塩液 100mL で60分 div. )						
	側②生理食塩液 50mL 1B						
	day2～4						
	メイン①生理食塩液 1L 1B						
	フルオロウラシル注 ( )mg						
	側①シスプラチン注 ( )mg						
(緩徐に iv. または							
生理食塩液 100mL で60分 div. )							
側②生理食塩液 50mL 1B							
day5							
メイン①生理食塩液 1L 1B							
フルオロウラシル注 ( )mg							
側①シスプラチン注 ( )mg							
(緩徐に iv. または							
生理食塩液 100mL で60分 div. )							
側②生理食塩液 50mL 1B							
メイン②生理食塩液 50mL 1B							
(4週繰り返し、2週休薬)							
備 考							
【レジメンシステム登録】							
05005-1B Low dose FP							
・5-FU 750mg/body で登録							
・CDDP 10mg/body、生食 100mL で希釈、							
60分点滴静注で登録							

05006	食道癌	Low dose FP+Radiation	申請科 外科
-------	-----	-----------------------	-----------

H27.7 改訂、H28.6 改訂 H30. 改訂 科別(外科)※消化器内科から外科へ H24.3

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
フルオロウラシル (5-Fu)	200mg/m <sup>2</sup> /day	div.(24h 持続)	5day/week × 6weeks
シスプラチン(CDDP) (cisplatin)	4mg/m <sup>2</sup> /day	i. v. (側管) 又はdiv.(60 分)	5day/week × 6weeks
Radiation	2Gy/Day (60Gy/30Fr/6w)		5day/week × 6weeks
6週1クールで終了			
Regimen			
5 分 24 時間 緩徐に 5 分 24 時間 緩徐に 5 分	<b>day1</b> メイン①生理食塩液 50mL 1B メイン②生理食塩液 1L 1B フルオロウラシル注 ( )mg 側①シスプラチン注 ( )mg (緩徐に iv. または 生理食塩液 100mL で60分 div. ) 側②生理食塩液 50mL 1B	24 時間 緩徐に 5 分 全 開 (5 分)	<b>day5</b> メイン①生理食塩液 1L 1B フルオロウラシル注 ( )mg 側①シスプラチン注 ( )mg (緩徐に iv. または 生理食塩液 100mL で60分 div. ) 側②生理食塩液 50mL 1B メイン②生理食塩液 50mL 1B (6 週繰り返す)
	<b>day2~4</b> メイン①生理食塩液 1L 1B フルオロウラシル注 ( )mg 側①シスプラチン注 ( )mg (緩徐に iv. または 生理食塩液 100mL で60分 div. ) 側②生理食塩液 50mL 1B		
			<b>備 考</b> <b>【レジメンシステム登録】</b> 05006-1B Low dose FP+Radiation ・1クール6週間 (day1~5・8~12・15~19・22~26・29~33 ・36~40 投与)で入力 ・CDDP:生食 100mL で希釈、60 分点滴静注で登録

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
パクリタキセル (paclitaxel)	100mg/m <sup>2</sup>	div. (1h).	day1、8、15、 22、29、36
6投1休(7週間毎) 耐性になるまで			
(外来) 化療ベット予約 : 2 時間で登録			
Regimen			
10 分	<b>day1、8、15、22、29、36</b> メイン①生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6. 6mg 1V ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注 5mg 1A		
30 分	側①生理食塩液 50mL 1B		
1 時間	側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液( )mg		
5 分	側③生理食塩液 50mL 1B		
		備 考	
		<b>【レジメンシステム登録】</b> 05009-2A Paclitaxel	

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
05010	共通	食道癌	<u>ニボルマブ療法(240mg)(食道 進行・再発)</u>	外科・ 消化器外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb <span style="border: 1px solid black;">IV</span> PS; 0 ~ 1 ( まで)			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )	
薬剤の量・経路・時間・1クール of 投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬 品 名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
オブジーボ (Nivolumab)	240mg/body	div.(30分)	Day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	2 週毎 可能な限り継続	化療ベット予約: 1時間で登録		
Radiation 併用 無	1回 Gy×	日、Total	Gy×	Fr
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
5 分	day1 メイン①生理食塩液 50mL	1B	<b>備 考</b> ・オブジーボ投与にあたり、インラインフィルター(0.2 又は 0.22 ミクロン)を使用すること。 ・オブジーボ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 0.35mg/mL 以上、総液量は 60mL 以上を目安とすること。 なお、希釈する場合、総液量は体重 30kg 以上の患者には 150mL 以下、体重 30kg 未満の患者には 100mL 以下とする必要があるため、体重 30kg 未満の場合はボトルから生食 30mL を抜き取る(薬剤部調製時)(薬品コメントとして登録済)。 ・30 分以上かけて点滴静注すること。 ・オブジーボにより infusion reaction が発現することがあるため、オブジーボとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。 <b>【レジメンシステム登録】</b> 05010-1A ニボルマブ療法(240mg)(食道 進行・再発)	
30 分	側①生理食塩液 100mL オブジーボ 240mg	1B 1V		
全開 (5 分)	側②生理食塩液 50mL	1B		

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科		
05011	共通	食道癌	<u>FOLFOX（食道）（アロキシ）</u>	外科		
適応患者						
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb ㉔ PS; ~ (まで)			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )			
薬剤の量・経路・時間・1クルルの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クルル数)、化療ベット時間						
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クルル)			
オキサリプラチン 5-FU	85mg/m <sup>2</sup> /day 400mg/m <sup>2</sup> /Day 2400mg/m <sup>2</sup> /46h	Div(120min) Div(15min) Div(46h)	Day1 Day1 Day1~3			
レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup> /Day	Div(2h)	Day1			
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	2 週毎 可能な限り継続	化療ベット予約: 3 時間で登録				
Radiation 併用 無	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr					
レジメン						
投与時間	投与日及び投与ルート	46時間	Day 1~3			
30分	Day1 ポート①生理食塩液 20mL フラッシュ1本 メイン①パロ/セトン点滴静注バッグ 0.75mg 1B デキサート注 6.6mg 1V		静脈ポート(シュアーフューザーA SFS-1036HRP) ポート②フルオロウラシル( )mg 生理食塩液 100mL ※全量100mLに調製する。 (ポート=2400mg/m <sup>2</sup> ) ポート③ヘパリン Na ロック用 (100 単位/mL)10mL 1本			
2時間	メイン②5%ブドウ糖液 250mL 1B レボホリナート( )mg					
2時間	側①(メイン②と同時に) 5%ブドウ糖 250mL 1B オキサリプラチン( )mg					
15分	側②(メイン②終了後) 5%ブドウ糖 100mL 1B フルオロウラシル( )mg (側②400mg/m <sup>2</sup> )					
5分	側③生理食塩液 50mL 1B					
		備 考				
		【レジメンシステム登録】 05011-1A FOLFOX(食道)(アロキシ)				



コード	分類	病名	レジメン名称	申請科		
05012-1A	共通	進行再発食道癌	<u>ペムブロリズマブ+FP</u>	外科		
適応患者						
病期(stage); I IIa <u>IIb III IIIa IIIb IIIc IV IVa IVb</u> PS; 0~1 ( まで)			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )			
薬剤の量・経路・時間・1クール of 投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間						
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)			
キイトルーダ (pembrolizumab)	200mg/body	div(30分)	day1			
フルオロウラシル (5-FU)	800mg/m <sup>2</sup> /day	div(24 持続)	day1~5			
シスプラチン(CDDP) (cisplatin)	80mg/m <sup>2</sup> /day	div(2h)	day1			
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)※	3 週毎・回 Pem、5 FU : 35 クール、 CDDP:6 クール	化療ベット予約: 時間で登録				
Radiation 併用 無	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr					
レジメン						
投与時間	投与日及び投与ルート	2 時間	側⑤(側④と同ルートから) 生理食塩液 500mL 1B シスプラチン ( )mg フルオロウラシルと同時に投与			
内服	<b>アプレピタントカプセル及びデカドロン錠を併用</b> day1 アプレピタントカプセル 125mg 化学療法前 1 回 day2,3 アプレピタントカプセル 80mg 分 1 朝食後 day2~4 デカドロン錠 8mg 分 2 食後 <b>day1</b>	5 分	側⑥(側⑤シスプラチン終了後、同一ルートから) 生理食塩液 50mL 1B			
5 分	メイン①生理食塩液 50mL 1B	2 時間	メイン⑤ソルデム 3A 500mL 1B			
30 分	側①生理食塩液 100mL 1B キイトルーダ 100mg 2V	6 時間	メイン⑥ソルデム 3A 500mL 1B			
5 分	側②生理食塩液 50mL 1B	5 分	側⑦(側③フルオロウラシル終了後、同一ルートから) 生理食塩液 50mL 1B			
24 時間	側③(側②終了後) 生理食塩液 1L 1B フルオロウラシル注 ( )mg	5 分	<b>day2</b>			
2 時間	メイン②ソルデム 3A 500mL 1B フルオロウラシル投与開始後、並行して開始	24 時間	メイン①生理食塩液 50mL 1B メイン②生理食塩液 1L 1B フルオロウラシル注 ( )mg			
30 分	メイン③パロセトン点滴静注バッグ 0.75mg 1B デキサート注 6.6mg 1V	24 時間	<b>day3~4</b>			
30 分	メイン④マンニトール S 300mL 1B フルオロウラシルを止めて投与	24 時間	<b>day5</b>			
5 分	側④(メイン④終了後、側③と別ルートで) 生理食塩液 50mL 1B	全開(5 分)	メイン①生理食塩液 1L 1B フルオロウラシル注 ( )mg メイン②生理食塩液 50mL 1B			

レジメン	
備考	
<p>※疾患進行又は許容できない毒性発現まで継続(キイトルーダ、フルオロウラシルは最大 35 サイクル、シスプラチン投与は最大 6 サイクル)(MSD 臨床試験方法資料から抜粋)</p> <p>・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター(0.2～5 μm)を使用すること</p> <p>・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 1～10mg/mL となるように調製すること</p> <p>・キイトルーダは 30 分間かけて点滴静注すること</p> <p>・キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること</p> <p>・day2 の点滴開始前にルートを交換</p> <p><b>【レジメンシステム登録】</b> 05012-1A ペムブロリズマブ+FP</p> <p>・アプレピタントはレジメン内の処方に登録</p> <p>・デカドロン錠は適宜処方内服オーダー</p> <p>＜推奨制吐剤＞現行に追加</p> <p>オランザピン OD 錠 5mg 1錠 分1 夕食後 day1～4</p> <p>・オランザピン OD 錠は内服処方オーダー</p> <p>・オランザピン OD 錠は糖尿病患者及び糖尿病の既往のある患者には禁忌</p>	

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科		
05013-1A	共通	食道癌	<a href="#">DCF</a>	外科・消化器外科		
適応患者						
病期(stage); I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> PS;0~1 (    まで)		<input type="checkbox"/> adjuvant <input checked="" type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他				
薬剤の量・経路・時間・1クール of 投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間						
薬 品 名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)			
ドセタキセル (Docetaxel)	70mg/m <sup>2</sup>	div(1h)	Day1			
シスプラチン (Cisplatin)	70mg/m <sup>2</sup>	div(2h)	Day1			
フルオロウラシル (5-FU)	750mg/m <sup>2</sup>	div(24h 持続)	Day1~5			
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3 週毎・3 回	化療ベット予約:      時間で登録				
Radiation 併用    無	1回    Gy×	日、Total	Gy×	Fr		
レジメン						
投与 時間	投与日及び投与ルート	2 時間	側⑤(側④と同ルートから) 生理食塩液    500mL      1B シスプラチン    (    )mg フルオロウラシルと同時に投与			
内服	アブレピタントカプセル及びデカドロン錠を併用する day1    アブレピタントカプセル 125mg 化学療法前    1 回	5 分	側⑥(側⑤シスプラチン終了後、同一ルートから) 生理食塩液    50mL      1B			
内服	day2,3    アブレピタントカプセル 80mg    分 1    朝食後	2 時間	メイン④ソルデム 3A    500mL      1B			
	day2~4    デカドロン錠 8mg    分 2    食後	6 時間	メイン⑤ソルデム 3A    500mL      1B			
30 分	day1 メイン①ハロ/セロン点滴静注バック 0.75mg    1B デキサート注 6.6mg      1V デキサート注 1.65mg      2A	5 分	側⑦(側③フルオロウラシル終了後、同一ルートから) 生理食塩液    50mL      1B			
60 分	側①5%ブドウ糖液    250mL      1B ドセタキセル    (    )mg		day2			
5 分	側②生理食塩液    50mL      1B	5 分	メイン①生理食塩液    50mL      1B			
24 時間	側③(側②終了後) 生理食塩液    1L      1B フルオロウラシル    (    )mg	24 時間	メイン②生理食塩液    1L      1B フルオロウラシル    (    )mg			
2 時間	メイン②ソルデム 3A    500mL      1B フルオロウラシル投与開始後、並行して開始	24 時間	day3~4 メイン①生理食塩液    1L      1B フルオロウラシル    (    )mg			
30 分	メイン③マンニトール S    300mL      1B フルオロウラシルを止めて投与		day5			
5 分	側④(メイン③終了後、側③と別ルートで) 生理食塩液    50mL      1B	24 時間	メイン①生理食塩液    1L      1B フルオロウラシル    (    )mg			
		全開(5分)	メイン②生理食塩液    50mL      1B			
<推奨制吐剤> 現行に追加		備考				
オランザピン OD 錠 5mg    1錠    分1    夕食後    day1~4		・day2 の点滴開始前にルートを交換				
・オランザピン OD 錠は内服処方オーダ		【レジメンシステム登録】				
・オランザピン OD 錠は糖尿病患者及び糖尿病の既往のある患者には禁忌		05013-1A    DCF				
		・アブレピタントはレジメン内の処方に登録				
		・デカドロン錠は適宜処方内服オーダ				

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科		
05014-1A	共通	食道癌	(標準)FP+Radiation	消化器内科		
適応患者						
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV PS:0~2( まで)			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他			
薬剤の量・経路・時間・1クール of 投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間						
薬 品 名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)			
5-FU	700mg/m <sup>2</sup> /日	点滴(24 時間持続)	1~4 日目			
シスプラチン(CDDP)	70mg/m <sup>2</sup> /日	点滴(2 時間)	1 日目			
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	4 週毎・2 回	化療ベット予約: 時間で登録				
Radiation 併用 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	1回 2Gy × 30 日、Total 60Gy × Fr					
レジメン						
投与時間	投与日及び投与ルート	6 時間	メイン⑥ソルデム3A 500mL	1B		
		5 分	側⑤(側①フルオウラシル終了後、同	1ルートから)		
			生理食塩液 50mL	1B		
内服	アプレピタントカプセル及びデカドロン錠を併用する。 day1 アプレピタントカプセル125mg 化学療法前 1 回		day2			
内服	day2,3 アプレピタントカプセル80mg分1 朝食後 day2~4 デカドロン錠8mg分2 食後	5 分	メイン①生理食塩液 50mL	1B		
	day1	24 時間	メイン②生理食塩液 1L	1B		
			フルオロウラシル注 ( )mg			
5 分	メイン①生理食塩液 50mL		day3			
24 時間	側①(メイン①終了後) 生理食塩液 1L	24 時間	メイン①生理食塩液 1L	1B		
	フルオロウラシル注 ( )mg		フルオロウラシル注 ( )mg			
2 時間	メイン②ソルデム3A 500mL	24 時間	メイン①生理食塩液 1L	1B		
	フルオロウラシル投与開始後、並行して開始		フルオロウラシル注 ( )mg			
30 分	メイン③パロセトン点滴静注パック 0.75mg 1B デキサート注 6. 6mg 1V	全開(5 分)	メイン②生理食塩液 50mL	1B		
30 分	メイン④マンニトール S 300mL 1B フルオウラシルを止めて投与	備 考				
5 分	側②(メイン④終了後、側①と別ルートで) 生理食塩液 50mL	【レジメンシステム登録】				
2 時間	側③(側②と同一ルートから) 生理食塩液 500mL	・day2の点滴開始前にルートを交換				
	シスプラチン ( )mg フルオウラシルと同時に投与	【レジメンシステム登録】				
5 分	側④(側③シスプラチン終了後、同 1ルートから) 生理食塩液 50mL	05014-1A (標準)FP+Radiation				
2 時間	メイン⑤ソルデム3A 500mL	・アプレピタントはレジメン内の処方に登録				
		・デカドロン錠は適宜処方内服オーダ				
		<推奨制吐剤> 現行に追加				
		オランザピン OD 錠 5mg 1錠 分1 夕食後 day1~4				
		・オランザピン OD 錠は内服処方オーダ				
		・オランザピン OD 錠は糖尿病患者及び糖尿病の既往のある患者には禁忌				

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
05015-1A	共通	食道癌	<u>ニボルマブ療法(480mg)(食道 進行・再発)</u>	外科・消化器外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb <b>IV</b> PS; 0 ~ 1 (    まで)			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他(    )	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬 品 名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
オブジーボ (Nivolumab)	480mg/body	div.(30分)	Day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	4週毎 可能な限り継続	化療ベット予約:    1時間で登録		
Radiation 併用    無	1回    Gy×	日、Total	Gy×	Fr
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
5分  30分  全開 (5分)	day1 メイン①生理食塩液    50mL    1B		備 考	
	側①生理食塩液    100mL    1B オブジーボ    240mg    2V		・オブジーボ投与にあたり、インラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を使用すること。 ・オブジーボ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は0.35mg/mL以上、総液量は60mL以上を目安とすること。 なお、希釈する場合、総液量は体重30kg以上の患者には150mL以下、体重30kg未満の患者には100mL以下とする必要があるため、体重30kg未満の場合はボトルから生食30mLを抜き取る(薬剤部調製時)(薬品コメントとして登録済)。	
	側②生理食塩液    50mL    1B		・30分以上かけて点滴静注すること。 ・オブジーボにより infusion reaction が発現することがあるため、オブジーボとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。 <b>【レジメンシステム登録】</b> 05015-1A    ニボルマブ療法(480mg)(食道 進行・再発)	

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
05016-1A	共通	食道癌	<a href="#">ニボルマブ療法(240mg)(食道 術後補助)</a>	外科・消化器外科
適応患者				
病期(stage); I <span style="border: 1px solid black;">IIa IIb IIIa IIIb</span> IV PS; 0 ~ 1 (    まで)			<input checked="" type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他(    )	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬 品 名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
オプジーボ (Nivolumab)	240mg/body	div.(30分)	Day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	2週毎・24回	化療ベット予約:1時間で登録		
Radiation 併用 有 ・ 無	1回 Gy×	日、Total	Gy×	Fr
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
5分	day1 メイン①生理食塩液 50mL	1B	<b>備 考</b> ・オプジーボ投与にあたり、インラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を使用すること。 ・オプジーボ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は0.35mg/mL以上、総液量は60mL以上を目安とすること。 なお、希釈する場合、総液量は体重30kg以上の患者には150mL以下、体重30kg未満の患者には100mL以下とする必要があるため、体重30kg未満の場合はボトルから生食30mLを抜き取る(薬剤部調製時)(薬品コメントとして登録済)。 ・30分以上かけて点滴静注すること。 ・オプジーボによりinfusion reactionが発現することがあるため、オプジーボとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。 <b>【レジメンシステム登録】</b> 05016-1A ニボルマブ療法(240mg)(食道 術後補助)	
30分	側①生理食塩液 100mL オプジーボ 240mg	1B 1V		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL	1B		

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
05017-1A	共通	食道癌	<a href="#">ニボルマブ療法(480mg)(食道 術後補助)</a>	外科・消化器外科
適応患者				
病期(stage); I <span style="border: 1px solid black;">IIa IIb IIIa IIIb</span> IV PS; 0 ~ 1 (    まで)			<input checked="" type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他(    )	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬 品 名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
オプジーボ (Nivolumab)	480mg/body	div.(30 分)	Day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	4週毎・12回	化療ベット予約:    1時間で登録		
Radiation 併用 有 ・ 無	1回    Gy×	日、Total    Gy×	Fr	
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
5 分	day1 メイン①生理食塩液    50mL	1B	<b>備 考</b> ・オプジーボ投与にあたり、インラインフィルター(0.2 又は 0.22 ミクロン)を使用すること。 ・オプジーボ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 0.35mg/mL 以上、総液量は 60mL 以上を目安とすること。 なお、希釈する場合、総液量は体重 30kg 以上の患者には 150mL 以下、体重 30kg 未満の患者には 100mL 以下とする必要があるため、体重 30kg 未満の場合はボトルから生食 30mL を抜き取る(薬剤部調製時)(薬品コメントとして登録済)。 ・30 分以上かけて点滴静注すること。 ・オプジーボにより infusion reaction が発現することがあるため、オプジーボとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。 <b>【レジメンシステム登録】</b> 05017-1A   ニボルマブ療法(480mg)(食道 術後補助)	
30 分	側①生理食塩液    100mL オプジーボ    240mg	1B 2V		
全開 (5 分)	側②生理食塩液    50mL	1B		